

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 3 年 12 月 23 日 (2021.12.23)

【公表番号】特表 2021-502168 (P2021-502168A)
【公表日】令和 3 年 1 月 28 日 (2021.1.28)
【年通号数】公開・登録公報 2021-004
【出願番号】特願 2020-525873 (P2020-525873)
【国際特許分類】

A 6 1 B 18/12 (2006.01)

A 6 1 B 8/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 18/12

A 6 1 B 8/12

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 8 日 (2021.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組織治療を視覚化するシステムであって、

1 つ又は複数の展開可能なスタイレットと第 1 エネルギーセンサとを有する組織治療器具と、

超音波撮像面を発生させるように構成され、且つ第 2 エネルギーセンサを有する超音波撮像器具と、

患者の身体に近接して配置されるように構成され、且つ前記第 1 エネルギーセンサ及び前記第 2 エネルギーセンサと相互作用するエネルギー場を発生させるように構成されているエネルギー場発生器と、

前記組織治療器具の前記第 1 エネルギーセンサ、前記超音波撮像器具の前記第 2 エネルギーセンサ及び前記エネルギー場発生器と通信するコンソールと、
を備え、

前記コンソールが、前記エネルギー場内での前記第 1 及び第 2 エネルギーセンサの互いに対する位置および向きに基づき、前記超音波撮像面に関して向けられた前記組織治療器具の典型的な画像を生成するように構成され、

前記コンソールが、前記 1 つ又は複数のスタイレットの展開長に基づくサイズを有する、予期されたアブレーション境界又は予期された治療ゾーンの画像を生成するようにさらに構成されている、システム。

【請求項 2】

前記組織治療器具が、1 つ又は複数の展開可能なスタイレットと突き刺し遠位先端とを有する長尺状本体を備える、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記組織治療器具がアブレーション器具を含む、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記組織治療器具が、アブレーションエネルギー、クライオアブレーションエネルギー、プラズマエネルギー又は機械エネルギーを与えるように構成されている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記エネルギー場発生器が電磁場発生器を含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記エネルギー場発生器が、高周波エネルギー、マイクロ波エネルギー、超音波エネルギー又は赤外線エネルギーを与えるように構成されている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記超音波撮像器具が、前記第 2 エネルギーセンサを有する長尺状超音波プローブ及びスリーブを備える、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記エネルギー場発生器が、前記患者の身体の骨盤に近接して配置されるように構成されている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記コンソールがコンピュータを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記コンソールが、前記 1 つ又は複数のスタイレットの展開中にリアルタイムに前記アブレーション境界又は治療ゾーンを判断するように構成されている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 11】

前記第 1 エネルギーセンサが第 1 電磁エネルギーセンサからなる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 12】

前記コンソールが、前記第 1 および第 2 エネルギーセンサの互いに対する前記位置及び前記向きを計算するように構成されている、請求項 1 に記載のシステム。